

はじめに

本市は、平成 24 年 4 月に「日本一暮らしやすい政令市」を目指して指定都市へと移行し、今年 3 月には 2013 年の国連“生命の水 (Water for Life)”最優秀賞 (水管理部門) を受賞するなど、平成 24 年度は記念すべき一年となりました。

しかし、平成 24 年 7 月には九州北部豪雨が発生し、本市においても市中心部を流れる一級河川の白川が氾濫し甚大な被害を生じました。その際、当センターの職員も被災地域の復旧作業に従事すると共に、上水道が未給水で灌水した井戸を飲用として利用されている世帯に対し井戸水の水質検査を無料で実施するなど、危機管理の重要性を再認識することになった年でもありました。

このような中、当センターでは、地方衛生研究所設置要綱に基づく「調査研究」「試験検査」「研修指導」「公衆衛生情報等の収集・解析・提供」業務の充実を目指すことに加え、市民との協働によって地域の個性や特性を生かしたまちづくりを進めるべく、当センター周辺の自治会等と環境保全などに配慮した取り組みを開始しました。その活動は、まず、近隣の保育園の子どもたちと一緒に当センター南側のガラス面にゴーヤやヘチマを使った「緑のカーテン」を製作したことです。夏には収穫祭も開催するなど省エネルギーについて親子で考えていただく機会となりました。また、地域の夏祭りに使用する竹灯籠に燈す「廃油キャンドル」を一緒に作製し、環境に配慮した夏祭りとして好評を得ました。平成 25 年度も新たな取り組みを進めることにしています。

今後とも、市民の安全・安心を確保し、本市の環境学習の拠点としても存在価値のある施設であり続けるよう様々な施策に取り組んでいく所存です。

最後になりましたが、ここに平成 24 年度の年報を発行いたしました。ご高覧いただき、ご指導、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

平成 25 年 8 月

熊本市環境総合センター所長

藤井 幸三